

第144号
2019.2.1

ひこね 市議会だより



「河原町芹町地区」

平成28年7月国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました



平成30年11月臨時会(11月29日)
平成30年12月定例会(12月3日~12月20日)

- 11月臨時会で決まったこと …… 2
- 12月定例会で決まったこと …… 3~6
- 個人質問…………… 7~17
- 常任委員会視察…………… 18,19
- お知らせ…………… 17,20

11月臨時会の結果

11月29日の11月臨時会の結果についてお知らせします。

予算関係1件、条例関係1件を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

議案第78号および議案第79号に対して6名（小川喜三郎議員、北川元気議員、獅山向洋議員、奥野嘉己議員、長崎任男議員、山内善男議員）から個人質疑がありました。

11月臨時会 議案の審議結果

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	33~46	損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた議案

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 一：議長 欠：欠席）

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	獅 山向洋	北 川元 気	谷 口典 隆	夏 川嘉 一郎	小 川喜 三郎	赤 井康 彦	安 藤博	八 木嘉 之	矢 吹安 子	奥 野嘉 己	野 村博 雄	小 菅雅 至	和 田一 繁	上 杉正 敏	中 野正 剛	山 内善 男	山 田多 津子	杉 原祥 浩	長 崎任 男	安 澤勝	安 居正 倫	西 川正 義	馬 場和 子	
議案	78	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)	可決	●	●	●	○	○	○	○	一	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	79	平成30年度および平成31年度における彦根市長の給与の特例に関する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	一	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

ひこね市議会だより第143号の訂正について（お詫び）

ひこね市議会だより第143号（平成30年11月15日発行）9ページの議案第72号の議決結果について、記載に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

【訂正前】

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 一：議長）

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	獅 山向洋	北 川元 気	谷 口典 隆	夏 川嘉 一郎	小 川喜 三郎	赤 井康 彦	安 藤博	八 木嘉 之	矢 吹安 子	奥 野嘉 己	野 村博 雄	小 菅雅 至	和 田一 繁	上 杉正 敏	中 野正 剛	山 内善 男	山 田多 津子	杉 原祥 浩	長 崎任 男	安 澤勝	安 居正 倫	西 川正 義	馬 場和 子	
議案	72	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

【訂正後】

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 一：議長）

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	獅 山向洋	北 川元 気	谷 口典 隆	夏 川嘉 一郎	小 川喜 三郎	赤 井康 彦	安 藤博	八 木嘉 之	矢 吹安 子	奥 野嘉 己	野 村博 雄	小 菅雅 至	和 田一 繁	上 杉正 敏	中 野正 剛	山 内善 男	山 田多 津子	杉 原祥 浩	長 崎任 男	安 澤勝	安 居正 倫	西 川正 義	馬 場和 子	
議案	72	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	可決	●	●	●	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○



12月定例会の結果

12月20日に閉会した12月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係5件、条例関係3件、その他議案5件を審査し、全て原案のとおり可決しました。

また、請願5件のうち、1件を採択、4件を不採択とし、意見書案1件を可決しました。

重要文化財建造物災害復旧事業

2406万円

台風第21号により国宝彦根城天守、附櫓および多聞櫓の外壁漆喰が剥落し、9月補正の追加により経費を計上していましたが、滋賀県とともにき損範囲を確認したところ、より広範囲であったことから、追加で復旧のために必要となる経費です。



▲台風被害を受けた彦根城（天秤櫓、天守） ※文化財課提供

まち・ひと・しごと「住もうよ！ひこね」リフォーム補助事業

889万円

市内の産業および雇用の活性化ならびに居住環境の向上を図り、定住人口の増加を図るため助成を実施していますが、今年度は台風の被害の復旧に伴う工事案件が多数あり、申請された全ての案件について補助事業の対象とするために必要な経費です。

<積算内容>

- ・住宅リフォーム等助成金
(10%助成) 87件 619万5千円
(15%助成) 36件 265万5千円
- ・その他（消耗品費、印刷製本費、通信運搬費） 4万円



予算常任委員会

平成30年度(2018年度)彦根市一般会計
補正予算(第7号)を可決

予算常任委員会は、12月13日に委員会を開催し、議案5件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第80号、議案第81号、議案第82号、議案第83号
議案第84号

【主な内容】

- 議案第80号に対する質疑
- Q 「住もうよ!ひこね」リフォーム事業のPRはどのようなものか。
- A 年2回の事前申し込み時、またはホームページ等でお知らせしている。
- Q 放課後児童クラブを公募する理由は。
- A 市直営の児童クラブだけでなく、NPO法人での指導員不足も生じているから。
- Q ホームページ作成における業務内容は。
- A 専門の委託業者をプロポーザルで選定し、ホームページの内容をリニューアルするものである。
- 議案80号に対する討論
- 反対 危機管理の積立金300万円の根拠が明確でなく、長期的な展望がないことから反対する。
- 賛成 議員の期末手当について、社会情勢から見ても、議員自らが上げるべきではないことから反対する。
- 賛成 放課後児童クラブの今後への期待と市ホームページのリニューアル、中期財政計画の見直しを期待する意味で賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市議会議員および彦根市長の選挙における
選挙運動の公費負担に関する条例の一部を
改正する条例案など議案8件を全て可決

企画総務消防常任委員会は、12月14日に委員会を開催し、議案8件および請願2件などについて慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第85号、議案第86号、議案第87号、議案第88号
議案第89号、議案第90号、議案第91号、議案第92号
・請願第6号、請願第7号

【主な内容】

- 請願第6号に対する討論
- 反対 日々の訓練を通じて安全性が高められることも事実であり、今後は再発防止策を講じ安全第一に訓練が行われることを求め請願には反対する。
- 賛成 政府の責任において安全な場所での訓練が出来る適地を探すべきである。現在の場所での射撃訓練は中止すべきであり請願に賛成する。
- 請願第7号に対する討論
- 反対 高齢化が進む中で社会保障の基盤整備を図ることとは喫緊の課題である。全ての国民が公平に負担する消費税の増税は致し方がないため請願には反対する。
- 請願第6号、請願第7号は不採択
- 議案はいずれも原案のとおり可決
- 所管事務調査
- Q 庁舎耐震化工事のスケジュールは。
- A 汚染土壌搬出の作業は、1月末完了予定である。今後、調停や契約が順調に進んだ場合、2020年8月頃に完成し9月のシルバークウィークもしくは年末年始の引越しになると思う。

福祉病院教育常任委員会

市民体育センター建設の見直しを求める
請願書を不採択

福祉病院教育常任委員会は、12月17日に委員会を開催し、請願1件について慎重に審査しました。

【審査】
・請願第8号

【主な内容】

○請願第8号に対する討論

反対 市民体育センターは、国民スポーツ大会前年に行われるリハーサルまでに整備する必要がある。市民体育センターの無い空白期間を短くし、立ち止まる猶豫はないと考えることから反対する。

賛成 現在示されている経費は64億円だが、建築資材の高騰・人材不足は目に見えており、今後経費は膨張するおそれがある。来年度予算編成に苦勞している現状を踏まえると慎重に議論する必要があるため賛成する。

【結果】
・請願第8号は不採択

市民産業建設常任委員会

主要農作物の種子生産にかかる県条例の制定
に関する意見書の提出を求める請願を採択

市民産業建設常任委員会は、12月18日に委員会を開催し、請願2件について慎重に審査しました。

【審査】
・請願第5号、請願第9号

【主な内容】

○請願第9号に対する質疑

Q 小学4年生から中学3年生までの医療費負担額はどれくらいになるのか。

A 1学年2千万円程で1億から1億2千万円程度を想定。

【結果】
・請願第5号は原案のとおり採択。請願第9号は不採択

議会改革特別委員会

委員会のインターネット中継は
新しい庁舎の完成を待つ

10月2日および10月11日に開催した委員会では、インターネット中継を議題とし、設置費用やそのメリット・デメリットについて協議を行った。その結果、多くの委員が、現在の委員会室でのインターネット中継は今の状況で行うべきではなく、新しい庁舎完成を待つべきとの意見であった。よって、設備の整った新しい庁舎の委員会室の完成後に中継を実施することに決定した。



12月定例会 議案の審議結果

会期：12月3日～12月20日

■ 全員賛成の議案等

項目	番号	件名
議案	81	平成30年度(2018年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	82	平成30年度(2018年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	83	平成30年度(2018年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)
	84	平成30年度(2018年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)
	85	彦根市議会議員および彦根市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案
	86	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案
	87	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案
	88	愛荘町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて
	89	豊郷町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて
	90	甲良町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて
	91	多賀町と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めることについて
	92	訴えの提起につき議決を求めることについて
請願	5	主要農作物の種子生産にかかる県条例の制定に関する意見書の提出を求める請願書
意見書案	5	主要農作物の種子生産に係る県条例の制定を求める意見書案

■ 賛否が分かれた議案等

【賛否が分かれた議案等・審議結果】 (○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	辻	獅	北	谷	夏	小	赤	安	八	矢	奥	野	小	和	上	中	山	山	杉	長	安	安	西	馬																					
				眞	山	川	口	川	井	藤	木	吹	野	菅	田	杉	野	内	田	原	崎	澤	居	川	場	子	洋	元	典	隆	一郎	三郎	彦	博	之	子	己	博	至	一	繁	敏	剛	善	津	浩	任	勝
議案	80	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
請願	6	陸上自衛隊響庭野演習場での実弾射撃訓練の中止を求め、政府に意見書の提出を求める請願書	不採択	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																					
	7	「消費税増税は中止」の意見書提出を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																					
	8	市民体育センター建設の見直しを求める請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																					
	9	子どもの医療費の完全無料化を中学校卒業まで拡大することを求める請願	不採択	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																					



市政について
質す!

12月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案に限らず市政全般から議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

Q 彦根市でのESD（持続可能な社会の創り手を育成する教育）の推進体制は。

A 全ての小中学校において、地域の実態や特色を生かしたESDを計画・実践しており、学校の代表に加えて、PTA会長や自治会代表を委員とする、「ESDによる特色ある学校教育推進委員会」を設置して具体的な取組を進めている。

Q ユネスコスクールに彦根市の全校が加盟しない理由は。

A ユネスコスクールは、国内外のユネスコスクールとの交流や情報交換、全国大会等の研修会への参加によって、平和や安全への貢献のための国際連携を実践する学校であり、人権教育や環境教育など、自校の特色ある教育活動の充実を考えると、学校経営の軸とする視点は様々なので、各学校の判断に任せている。



中野 正剛議員

A 彦根市ではESDを学校経営の軸にしている

Q ユネスコスクール・ESDについて



▲大牟田市の取組

その他の質問

・「空き家等の適正管理に関する情報提供書」の存在をもっと市民に周知しては



獅山 向洋議員

Q

解体された市民体育センターへの鎮魂は

A

解体時に「定礎」から出た収納物を展示する

Q 市民体育センターはとうとう解体されてしまった。多くの市民も私も衝撃を受けている。年間約8万人の利用者があり、36年間市民に愛され、耐震補強が完了し、国体で利用されるはずであったのに、庁内の決裁文書も県知事の解体要請書もないまま解体された。このような不条理で理不尽な仕打ちをうけた市民体育センターは無念の思いであつたに違いない。追悼の意を込めて鎮魂の誠を捧げるものである。市長は鎮魂の誠を捧げる気持ちはあるのか。

A 私も、その前提は別にして、鎮魂の誠を捧げるが、新市民体育センターを一日も早く整備して市民の期待に応えたい。解体時に「定礎」の収納物を受領したので、今後、展示していきたい。



▲解体されてしまった市民体育センター

その他の質問

- ・松原町の国体用地買収について
- ・新市民体育センターについて
- ・ごみ処理施設建設地決定について



西川 正義議員

Q

進まぬ稲枝駅西側地区の開発。市長所見は

A

厳しい状況下、着手可能な事業から推進する

Q 稲枝駅西側地区の開発は地元住民の願いであり、地区計画案も作成できているが、実現しない現状を市長はどのように分析されているのか。

A 長年の懸案事項であり、5年前にこの一帯を地区計画によって、民間主導による開発を進めることで一定の方向性を示し、地域と協働して作業を進めてきたところである。本市として、都市計画マスタープランに当該地域の地区計画を位置づけ、農業振興地域における農用地区域、いわゆる青地からの除外について国・県とも協議しているが、この地域での開発の必要性を明確に説明することが不可欠であり、都市計画道路の変更手続きなどを進め、道路事業や一部先行しての事業着手が可能な部分について進めていく。



▲開発が待たれる稲枝駅西側地区

その他の質問

- ・彦根市における来客対応・激励のあり方について

個人質問



山田多津子議員

Q 何のため誰のための国体か、多くの疑問や緊縮財政のもと、将来に負担を残す懸念がある中、国体に百億円を投じる計画が今後の市政運営にどのような支障をきたすと考えるか。

A 新市民体育センター等の費用は多額の事業費だが将来に有益な施設と確信している。投資的事業は市財政に一定影響があり従来の事業で廃止や削減・延伸をしていく。

Q H30年度予算ベースから12億円圧縮し、片や使用料や手数料を見直すことは市民に負担を強いることになる。見解は。

A 確かに利用料等の引き上げは市民負担になるが理解を得るため説明をしていく。

Q 危機的財政事情から燦ぱれすは残し、体育センター建設計画は一旦立ち止まるべき

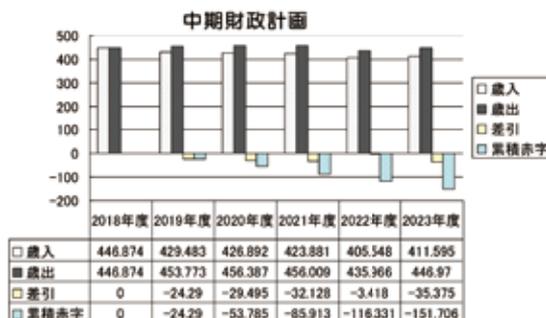
A

一日も早い完成に向けて取り組んでいく

Q

財政危機の中体育センター建設を立ち止まれ

A では。
市民に不便をかけている中、一日も早い完成を目指す。



▲彦根市の中期財政計画

その他の質問

- ・市独自の生産基盤整備推進事業のあり方について
- ・栗見橋修復工事の早期実現について



上杉 正敏議員

Q 大分県別府市の「おくやみコーナー」の内容は。

A 若手職員のプロジェクトチームの検討・提言によりH28年5月に開設され、死亡手続に関する各種の届け出を一元化し、ご遺族の方に「お客様シート」に記入していただき、手続きに関する必要書類ができるものと聞いている。

Q 市民目線に寄り添う窓口業務の改善のため、複合する窓口業務のワンストップ化を。

A 昨年度から「働き方・業務改革推進」の取組において導入を検討している。総合窓口内に相談ブースを設けることにより「快適で親切的な窓口サービス」を実現することを目指す。また、サービス向上のためにはアウトソーシング化を図っていく必要があり、新庁舎完成時に本格導入することを見据え検討を行っている。

A

快適で親切的な窓口サービスを目指す

Q

市民目線に寄り添う窓口業務の改善を



▲彦根市役所（西口仮庁舎）の窓口の様子

その他の質問

- ・窓口業務の対応について
- ・認知症対策の強化を



小川喜三郎議員

Q 来年10月からの幼児教育と保育の無償化は

A 3歳から5歳と一部0歳と2歳の子どもが対象

Q 無償化の範囲は。

A 3歳から5歳までの全体的な子どもおよび0歳から2歳までの市民税非課税世帯の子どもで幼稚園、保育所、認定こども園の利用料の無償化に加え、幼稚園の預かり保育、障害児の通園施設も無償化。さらに、認可外保育施設も保育の必要性があれば対象となる。

Q 認可外施設の施設数は。

A 市内に13施設ある。

Q 現施設の定数増も含めて待機児童の解消との関連性は。

A 無償化により保育のニーズはさらに高まる。来年度民間の小規模保育事業所が2箇所開設予定であるが公立での施設整備の計画はない。このため待機児童の解消は厳しい。

Q 彦根市の財政負担は。

A 初年度は全額国費での負担で、次年度から国1/2、



▲彦根市立東保育園

県と彦根市で1/4負担の方針。

その他の質問

- ・パーク&バスライド社会実験の結果は
- ・城内への車両乗り入れ規制は
- ・グリーンスローモビリティの導入は



夏川嘉一郎議員

Q 大牟田「持続可能な発展教育」学ぶ点多し

A 「大牟田版まちづくり」は検討に値するものは

Q 今や近代文明はその便利さと引替えに地球危機さえ招く。温暖化や大災害が加速。我々人類は未だこの打開策見出し得ず。こんな中、持続可能な発展目標SDGsや持続発展教育ESDの理念を掲げ世界をリードするユネスコスクールが存在は未来への希望である。大牟田市は全ユネスコスクール化、これと連携しSDGsに添ったまちづくり推進。本市も学ぶ所ありと見るが見解は。

A 持続発展教育ESDによる特色ある学校づくり推進に努めていく。

Q 大牟田版SDGsは参考になると考えるが如何か。

A 現時点でSDGsの取組はしていないが趣旨には賛同。現在情報収集、本市とSDGsとの関わり検討中。大牟田市の取組を参考にしたい。



▲大牟田市のESD

その他の質問

- ・河川ビオトープ化推進による「水辺生態系回復」について
- ・廃棄プラスチック皆減で、「マイクロプラ海汚染」防止を

個人質問



小菅 雅至議員

Q 彦根市のICTを推進する組織の今後は。

A 一層ICT化を推進していくためには、情報部門だけでなく、庁内で横断的に取り組むことが必要であると認識している。現在組織している若手職員によるIT活用分科会のようなICT推進部署のあり方を検討していきたいと考える。

Q 子育て支援サービスにAIを活用してはどうか。

A 子育てに関する情報については現在、「ひこね子育て応援サイト」などにおいてスマートフォンからもアクセスしやすい環境を整備している。AIとLINEアプリを活用した子育てに関する問い合わせへ自動応答してくれるシステムの導入については、他市町での導入状況等を把握し、研究していきたいと考えている。



彦根市のICTを推進する組織の今後は



ICT推進部署のあり方を検討していく



▲ITを活用したペーパーレスな彦根市庁内会議

その他の質問

- ・ ICT教育環境の整備状況は
- ・ 観光事業としてデジタルサイネージを設置してはどうか



長崎 任男議員

Q 厳しい財政状況の中、本市の重要施策を迅速かつ適正に推進し、市政の円滑な運営を図るために、現在各々の専門分野に特別顧問がおられる。

そのような中、昨年度末に副市長を退任され、4月1日に、市長に対し彦根城世界遺産登録やまちづくりおよび行政・法律上の諸問題の解決に関する助言をするために、新たな3人目の特別顧問として就任された山根特別顧問の報酬および費用弁償の内容は。

A 特別顧問の報酬および費用弁償（交通費等）は、彦根市特別職の職員で非常勤のものとの報酬および費用弁償に関する条例で定められており、山根特別顧問については合計で744万2千円を予算として計上している。出張に関しては、任務に応じて所管する所属からの支出となる。



山根特別顧問の報酬および費用弁償の内容は



744万2千円を予算として計上している



▲山根裕子彦根市特別顧問の講演の様子

その他の質問

- ・ 庁舎耐震化整備事業に係る経過において当初川嶋副市長の指示と称した根拠は
- ・ 第5回百条委員会での職員の発言は





矢吹 安子議員

Q 地域包括支援センターの現状と課題について

A 業務量を見て人員等については検討していく

となり役割を果たしていく。

Q 地域包括支援センターは6カ所あり、高齢者の介護や福祉、健康や医療等、様々な悩みや相談を受け、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう支援する施設であるが、その現状は。

A 総合相談延べ件数は平成24年度に比べて平成29年度は約3倍。相談内容も広範多岐に及んでいる。今後も業務量は増えると認識している。

Q 現状の体制では、「暮らしやすい環境づくり」は難しい状態である。課題への対応は。

A 高齢者人口の急激な増加が予測されるのはセンターひらた、ゆうじん、きららの担当地区。業務量の増加を見ただけで人員等を検討していく。

Q 高齢化のピークへの認識は。

A 互助の強化を支援するため住民に近いセンターが中心



▲彦根市地域包括支援センターひらた

その他の質問

・「ひこねちゃん」の活用方法の展望は



北川 元気議員

Q ペットの飼い主のための防災手帳作成を

A 事例を参考に研究したい

Q 彦根市内で飼われているペットの数は。

A 犬に関しては、市に登録が必要なため把握しており、平成30年3月末で5663頭となっているが、他のペットは把握していない。

Q 彦根市でのペットの災害対策の取組状況は。

A 彦根市避難所マニュアルをHPに掲載しており、各避難所でペットの受け入れにあたって、避難所での飼育、衛生管理、ケージの活用や専用スペースの設置など、そのルール作りの必要性を示しているが、市民への周知としては十分でない認識している。

Q ひこねちゃんが愛され、その恩恵を受けている彦根市でも「ペットの飼い主のための防災手帳」を作成する考えは。

A 先進都市の事例を参考に研究したい。



▲ペットの飼い主のための防災手帳（川崎市）

その他の質問

・キャッシュレスについて

・彦根市のICT化について

個人質問



辻 真理子議員

- Q** 庁舎耐震化工事が裏合意などで遅れたことにより発生した費用を「市民の損害」と定義するならば百条委員会の経費は市民にとって損害か。
- A** 地方自治法に基づき特別委員会であるので必要な経費である。
- Q** 民事調停の弁護士費用と印紙代は市民にとって損害か。
- A** 正当かつ適正な経費。
- Q** 裏合意が発覚し、工事が止まったことによる仮庁舎の賃貸借期間延長分の賃料は市民にとって損害か。
- A** 工事の中断は土壌汚染によるもので、必要な経費。
- Q** 私が予算などから算出すると、2度の設計費、百条委員会経費、調停費用、仮庁舎賃料などで3億4800万円になるが、「市民にとっての損害」ではないか。
- A** 正当な費用と考える。

A 正当な費用と考えている

Q 少なくとも3・4億円は市民の損害でないか

市長の独断による「耐震化整備事業の変更」と「裏合意」によって、市民に支払わせることになる「損害」

設計費	4150万円	追加の2回の設計費
百条委員会費	150万円	百条委員会開催経費
調停関係費	500万円	調停申立経費(試算額)
期間延長の仮庁舎賃料	1億円	最低1年間延長の賃借料追加負担
消費税増加分	2億円	総工事費(40億円)の5%分の金額
合計	3億4800万円	

(予算書や辻真理子の試算に基づく)

その他の質問

- ・城下町彦根における交通システムについて(パーク&バスライド、グリーン・スロー・モビリティ)
- ・妊婦加算について



和田 一繁議員

- Q** 放課後児童クラブの指導員業務委託を公募にした理由は。
- A** 放課後児童クラブへの入所希望児童が年々増加傾向にあり、来年度は、11月2日の申込締切時点で1498人の希望がある。今年度より約100人利用児童が増えることになり、指導員の確保は困難な状況である。継続的・安定的に運営するため、民間を含め幅広く公募する。
- Q** シルバー人材センターおよび地元NPO法人の指導員の雇用は守られるのか。
- A** プロポーザルによる公募を考えており、その参加は各法人の判断によるが、事業者の選定は、審査会を設置し、提案書の評価を行い決定する。その評価を行う基準に指導員の確保についての項目を設ける考えである。

A 継続的・安定的な運営を行うため

Q 指導員業務委託を公募にした理由は



▲彦根市放課後児童クラブ入会のおしり

その他の質問

- ・ホストタウンにかかるとるスペインハンドボール連盟とのやりとりは
- ・文化財保護法の一部改正について



野村 博雄議員

A 今後柔軟かつ十分な
対応と情報発信に努める

Q 高齢者など社会的弱者に
配慮した避難対応を

- Q** 台風時、出来るだけ多くの避難場所を開設すべきでは。
- A** それが見えたいと考える。現状、人員配置等から災害の状況に応じて開設している。
- Q** 開設していない指定緊急避難場所に避難者が来られた場合、柔軟な対応が必要では。
- A** 施設管理者には、出来るだけ柔軟な対応を心がけていただくように周知していく。
- Q** 開設している避難場所の周知が不十分ではないのか。
- A** メール配信システムや緊急通報システム等、更に今年度から防災用屋外放送設備でも周知を図るとともに、いつもすべてが開設していない事を日頃から周知していく。
- Q** 避難時、支援が必要な方への支援体制は十分か。
- A** 地域協力者の一層の充実を図るとともに、早期の判断と情報発信に努める。



▲彦根市民防災マニュアル

その他の質問

- ・市民に寄り添った路線バスや愛のりタクシーについて
- ・市立図書館等のトイレの改修について
- ・河瀬公園について



谷口 典隆議員

A 関係者と協議し負担軽減
を含めた見直しを行う

Q 出務医師の負担考慮し
休日急病診療所継続を

- Q** 彦根休日急病診療所の医療業務を委託している彦根医師会が、かねてより出務医師の負担軽減を求めていた中で、市の対応が十分ではないとして、現状のままでは来年度の業務は受託できないとの見解を示しておられるが認識は。
- A** 一定の負担軽減措置が講じられなければ業務委託契約の締結は困難と伺っている。
- Q** 同医師会と契約が締結できなかつた場合の影響は。
- A** 地域医療の最前線で活動されている同医師会と契約できないとの想定は考えられない。
- Q** 何らかの負担軽減策を講じて、来年度も同診療所の開設に努めるべきではないのか。
- A** 他所からの医師確保、診療時間の短縮、診療日の縮減など出務医師の負担軽減策を講じることにについて、同医師



▲彦根休日急病診療所が入る「くすのきセンター」

その他の質問

- ・放課後児童クラブ運営委託業務について（雇用指導員への配慮など）
- ・防災用屋外放送設備の有効活用について

個人質問



山内 善男議員

Q 「世代をつなぐ農村まると保全向上対策」とは。

A 農村地域の高齢化等で農村の保全管理への農家の負担増等が懸念されるため、改善に向け国県市が推進する施策。

Q 市内の取組集落数は。

A 取組要件を満たす82集落の内、48集落45組織で取り組まれ、交付金は約6千3百万円。

Q 取組集落の拡大目標は。

A 数値目標はないが、多くの集落で活用いただきたい。

Q 彦根市広域（仮称）とは。

A 各組織活動専念のため事務負担の大半を担い、各組織から交付金の10%を負担願う。

Q 事務負担軽減後の事務量は。

A 出納簿や作業報告書など最低限の書類提出のみとなる。

Q 従来どおり市が責任をもつて支援することが基本では。

Q

農村保全活動は
広域化でなく市が責任を

A

10%負担だが、
事務量が軽減できる

A 広域化となっても市は協力し必要な支援を行う。



▲集落のみなさんが、まると保全活動で農業排水路の泥あげ

その他の質問

- ・市庁舎耐震工事に関する処分は妥当か
- ・彦根城世界遺産登録は単独から見直しを
- ・こだわり農業に市の独自支援を



赤井 康彦議員

Q 新市民体育センター建設予定地に隣接する福満公園は、今年度、グラウンドゴルフ場整備等を含めた調査費を計上したが公園にグラウンドゴルフ場の整備はできるのか。

A 今年度から、公園の再整備に着手し実施設計を行っている。認定コースとしての整備は困難であるが既存の広場とは別にグラウンドゴルフができる芝の広場を計画する。

Q 新市民体育センター建設において交流棟に地元要望である図書冊数1万5千冊は確保できるのか。

A 新市民体育センター交流棟に図書・学習ラウンジを設け1万5千冊配置できるよう実施計画を進める。開館当初は約1万冊を配置し、年次的に増やしていき、最終的に1万5千冊を配置し閲覧や貸出の対応を行っていききたい。

Q

福満公園にグラウンド
ゴルフ場はできるのか

A

グラウンドゴルフが
できる芝の広場を整備



▲新市民体育センター建設予定地に隣接する福満公園

その他の質問

- ・避難所周辺のバリアフリー化は進んでいるのか
- ・新市民体育センター北側入口付近の地下道をきれいにすべき



安澤 勝議員

A 自衛隊から要請があれば検討する

Q 自衛隊によるクリーン作戦を実施しては

Q 姫路城では自衛隊によるクリーン作戦が昭和51年から今日まで継続して行われている。また、平成24年からは市民と一緒に清掃活動を実施していただける。姫路城で実施できて彦根城でできない理由は見当たらないと思うが、市の見解は。

A 彦根城内の除草作業や清掃作業は原則として彦根城管理事務所職員が行っているが、石垣など危険な場所については外部業者に委託している。自衛隊によるクリーン作戦は、職員などが対応できない場所でも清掃できると考えられる。訓練の一環でもあり、今後自衛隊から要請があれば姫路城の状況なども確認しながら検討していく。



▲姫路城クリーン作戦の様子

その他の質問

- ・彦根ばやし総おどりについて
- ・市道荘厳寺中山線の残土置き場について
- ・中山道の点滅信号撤去について



杉原 祥浩議員

A 公園区域東側は、契約締結のめどがついた

Q (仮称)彦根総合運動公園の用地買収状況は

Q (仮称)彦根総合運動公園「用地買収状況は。

A 公園区域東側については、契約締結のめどがついた。

Q 新彦根市総合体育館、現在の工事等の進捗状況は。

A 現在、敷地造成工事の発注作業を進めている。また、建物建設箇所の埋蔵文化財発掘調査は、年度内に完了予定。

Q 新彦根市総合体育館、今後の工事予定は。

A 造成工事を進め、建築工事に着手し、2021年度中の竣工予定に変更はない。

Q 解体された陸上競技場の代替施設確保、借用は。

A 県立大学等の利用について県に要望していく。

Q 公設屋内プールの新設は。

A 本市が整備する予定はないが、県東北部の県立施設として整備されるよう、引き続き県に要望していく。



▲工事が進む(仮称)彦根総合運動公園

その他の質問

- ・交流都市と彦根の観光と物産展、今後の方向性と次年度開催場所変更は
- ・リフォーム補助事業近年の申請数は

個人質問・お知らせ



奥野 嘉己議員

Q 来年度当初予算編成では、「枠配分方式」による減額方針が出たが条件設定は。

A 国体関連事業を重点項目とし、福祉的な扶助費、教育費、道路および橋梁等の公共財の維持費を確保し、これら以外の事業は大幅な事業廃止、削減、延伸を検討する。

Q 今年度対比での削減割合は。

A 部局ごとの配分額とし、一般財源ベースで表すと、都市建設部33%減、産業部20%減、市長直轄組織16%減、企画振興部10%減、福祉保健部3%減、消防3%減、上下水道部2%減、議会事務局2%減、市民環境部1%減、増加は、子ども未来部11%増、教育部3%増、総務部微増。

Q 優先確保された来年度と再来年度の国体関連予算額は。

A 両年度とも中期財政計画

A

大幅な事業廃止、削減、延伸の検討を行う

上では32億円前後。

Q

来年度当初予算の減額編成について



▲予算書等

その他の質問

- ・本庁舎耐震補強工事の調停について
- ・広報ひこねの表現について
- ・国体用地取得について

議会報告会の開催について

市政に関する情報を提供するとともに、多様な意見を把握することにより、市民の皆さまと議会の情報の共有化を進めるため、議会報告会を開催します。(会場ごとのテーマに基づいて議員と意見交換を行います。)

どなたでもご自由にご参加いただけますので、お近くの会場まで、是非、お越しく下さい。

第28回

日時：平成31年2月4日(月) 10:00~11:30

場所：中老人福祉センター2階大集会室

テーマ：あなたの出番です。かがやくシニア世代のために

第29回

日時：平成31年2月17日(日) 14:30~16:00

場所：ビバシティ彦根2階研修室1・2

テーマ：彦根に住みたくなる5つの政策

- ①100歳まで元気であるために、②子育てをしやすい環境は(教育を含む)、③高齢者が動きやすいまちにするために、④彦根のいいところは何?、⑤彦根の観光戦略について

意見書案1件を全会一致で可決

12月20日に意見書案第5号主要農作物の種子生産に係る条例の制定を求める意見書案を全会一致で可決しました。



委員会による先進地視察を実施



市議会では、議員の中から選任された委員で構成する常任委員会を設け、議案などを専門的、能率的に審査し、また、様々な調査を行っています。市民産業建設常任委員会、企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会の3つの常任委員会には、24人の議員全員が8人ずつに分かれ、委員に選任されています。

委員会では、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる自治体等を訪問し、調査研究を行っています。

今後も効果的な調査研究に努め、市政の発展と向上のため、活発な議論を行ってまいります。

市民産業建設常任委員会

- ①10月15日(月) 山口県柳井市「白壁の町並みを生かした観光・まちづくり」について
- ②10月16日(火) 山口県防府市「クリーンセンター」について
- ③10月17日(水) 福岡県糸島市「糸島市農力を育む基本計画」について



- ①柳井市は、昭和59年に選定された古市・金屋伝統的建造物群保存地区の街路整備を平成2年から平成7年までの間に幅員4m、延長310mの規模で事業費3億円をかけて整備されるとともに伝統的建造物群地区への補助制度を設け、伝統的建造物（家屋・土蔵等）の修理に対しては4/5、それ以外の建築物の修景等については2/3の補助がなされていました。電柱も地中化されて1.7haの地域が風情のある町並みになっていました。
- ②防府市クリーンセンターは、PFI法に基づき、市が資金調達して、設計・施工・運営を一括して民間に委託するDBO方式（Design Build Operate）を選定しています。施設の特徴としては、ごみ焼却施設にごみ選別施設とバイオガス化施設を組み合わせ、高効率な廃棄物発電を行っていました。
- ③糸島市は、食料・農業・農村をキーワードに糸島市農力を育む基本条例を平成22年に制定されました。それぞれのキーワードをもとに数値での目標を掲げたまちづくりを実践されており、この条例を制定したことで市民が地元食材に誇りを持ち、地産地消はもちろんのこと贈答品にも使うことでPRになったり、農業生産と所得の拡大につながっているとのことでした。

企画総務消防常任委員会

- ①10月29日(月) 茨城県つくば市「RPAを活用した働き方改革」について
- ②10月30日(火) 福島県須賀川市「防災・減災の取り組み」について
- ③10月31日(水) 栃木県那須塩原市「シティプロモーションの取り組み」について



- ①RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、パソコンにソフトウェアを導入して定型的な事務作業について自動化・効率化を図ることです。職員の働き方改革の大きな柱となり、業務時間の削減分を、より丁寧な窓口業務や創造的な業務に回ることができ、ひいては市民サービスの向上につながり非常に有益であり、本市においても、今後研究すべき事業課題のひとつであると考えます。
- ②東日本大震災により庁舎が全壊し、災害時・緊急時における行政の対応や市職員の行動は、訓練やマニュアルどおりにいかない想定外の連続であることを改めて認識しました。本市においても、災害時・緊急時には臨機応変に迅速な対応や的確な判断ができるスキルを備えておくことの大切さを学びました。
- ③定住促進を図るために「雇用・結婚・子育て・教育・暮らし・交流・広報」の各事業を重点的に展開されており、シティプロモーション推進の原動力は職員であることを痛感しました。本市においても、現行の組織体制のあり方や各種事業の展開方法など、彥根らしさを前面に打出したプロモーション事業を進めることが肝要であると考えます。

福祉病院教育常任委員会

- ①10月29日(月) 東京都荒川区「タブレットを活用した学校教育」について
- ②10月30日(火) 神奈川県三浦市「市立病院の経営改革」について
- ③10月31日(水) 神奈川県小田原市「アクティブシニア応援ポイント事業」について



- ①東京都荒川区の「タブレットを活用した学校教育」は、家庭の経済状況や家庭環境に関わらず、全ての子どもたちに21世紀型能力（論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力、情報スキル、情報モラル）を身に付けさせる事を目標に、タブレットPCを平成25年にモデル校4校、翌年9月には区内全校で導入されました。本市でも、鳥居本学園をはじめとする小中学校のタブレット運用が課題となっており、今回の視察はとても参考になりました。
- ②神奈川県三浦市の三浦市立病院は、過去に経営形態の見直しの一環で、民間病院等経営経験者を任期付きで事務長に採用し、その事務長を中心に70項目にも及び改善提案をし、病院再生に取り組み始めてきました。改善の中で、医療物品の徹底した在庫管理や契約事務の簡素化等で経費削減を実現されただけでなく、病院で働く全職員の経営に参画する意識の醸成や一部職員への人事考課導入による意欲の向上等の面でも改善されました。
- ③神奈川県小田原市では、シニア（高齢者）になっても元気に活動を続け、地域の元気・活力につながるような生き方を推奨するために、「アクティブシニア応援ポイント」を導入し、シニアが持つ豊富な人生経験と知識、幅広い人間関係や洞察力を活かし、次世代へより豊かな社会を残すために「生産的・創造的な活動をしながら歳をとる」というプロダクティブ・エイジングを推進しておられます。

中学生、高校生が議会傍聴

中学生傍聴

12月10日(月)の本会議(個人質問)を市内7中学校の生徒21人が傍聴しました。



今回、初めて傍聴しました。その中で、まずこのような場を見れたこと、彦根市についての話が聞けて良かったと思います。今まで学校でやっていた討論会とは全く違い、勉強になりました。

高校生傍聴

①12月10日(月)学校法人近江育英会近江高等学校の生徒6人、②12月11日(火)学校法人松風学園彦根総合高等学校の生徒8人が本会議(個人質問)を傍聴しました。



議場コンサートを開催しました

議場コンサートは市民の皆さんに議会をより身近に感じていただくため、議場開放の一環として開催しています。

今回は、12月3日(月)、西地区公民館で活動されている「滋賀川崎民謡会」の皆さんに三味線と民謡を披露いただきました。

三味線の音色とハリのある歌声が響き渡り、約90名の観客の皆さんに日本の伝統的な旋律をお楽しみいただきました。



編集後記

昨年引き続き、庁舎耐震化整備事業や新市民体育センター建設など、彦根市にとって重要な事業が進められています。彦根市議会は今後もこれらの事業を慎重に審査し、その進捗をチェックしてまいります。また、市議会では、情報の共有やペーパーレス化を目的として、タブレット端末を導入いたしました。今後はこのタブレットを活用し、さらなる議会改革を進めてまいります。今後とも未来に向かってLET'S GO ヒコネ。皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

広報委員会



次の定例会は **2月**です

本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
2月25日(月)	開会	9:00
3月4日(月)	代表質問 個人質問	9:00
3月5日(火)		
3月6日(水)		
3月7日(木)	予算常任委員会	9:30
3月8日(金)		
3月11日(月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
3月12日(火)	市民産業建設常任委員会	9:30
3月13日(水)	企画総務消防常任委員会	9:30
3月14日(木)	本会議	9:00
3月15日(金)	閉会	9:00
3月18日(月)		
3月20日(水)		

議会の傍聴は事前申込み不要です。お気軽にお越しください。